

平成22年11月12日

各位

会社名 スターツコーポレーション株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河野 一孝
 (JASDAQ・コード 8850)
 問合せ先
 役職・氏名 経理部長 村松 久行
 電話 03-6202-0377

平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年8月10日に公表いたしました平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異
 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	50,000	2,600	2,200	400	円 銭 8.36
実績値(B)	50,402	3,743	3,226	1,049	21.93
増減額(B-A)	402	1,143	1,026	649	—
増減率	0.8%	44.0%	46.7%	162.4%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	53,501	2,709	2,127	855	17.87

(業績予想との差異の理由)

平成23年3月期第2四半期連結累計期間の売上高におきましては、全体といたしましては概ね前回予想どおりとなりましたが、「建設事業」および「仲介賃貸管理事業」における利益率がコスト低減効果等によって改善してまいりましたほか、全般的に販売費及び一般管理費は費用対効果の見直し等に伴う減少によって、営業利益は1,143百万円増加の3,743百万円、経常利益は1,026百万円増加の3,226百万円と前回予想を大きく上回る結果となり、この結果四半期純利益につきましても649百万円増加し1,049百万円となりました。

2. 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正
 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	115,000	8,400	7,100	2,000	円 銭 41.79
今回修正 (B)	115,000	9,100	8,000	2,200	45.97
増減額 (B - A)	—	700	900	200	—
増 減 率	—	8.3%	12.7%	10.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	120,208	8,205	7,042	1,925	40.23

(修正の理由)

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間の実績を踏まえ、引き続き「建設事業」・「仲介賃貸管理事業」のコスト低減効果等に加え、「その他」の各事業におきましても安定した収益が見込めること、また全体といたしましても販売費及び一般管理費の見直し効果が継続する見通しであることから、前回予想に比べて、売上高は横ばいではありますが、営業利益は 700 百万円増加の 9,100 百万円の見通しであります。経常利益につきましては、さらに支払利息等の減少も見込み 900 百万円増加の 8,000 百万円を見込んでおりますが、固定資産設備の見直し等や税金費用を勘案し、当期純利益は 200 百万円増加の 2,200 百万円の見通しであります。

なお、平成 23 年 3 月期個別の業績予想につきましては、前回予想どおり売上高 4,600 百万円、営業利益 1,400 百万円、経常利益 900 百万円、当期純利益 1,200 百万円の見通しであり修正はございません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上